



八雲町社協だより

共に支えあう、安心・安全・福祉のまちづくりを目指して

熊石高齢者 ふれあい演芸会開催



熊石高齢者ふれあい演芸会は、今年で二十三回目を迎え熊石青少年スポーツセンターで開催しました。
スポーツセンターでの開催は今回で最後になることから、長年お世話になったこの会場に感謝の意を込め、歌や踊りで出場した方々もいつも以上に熱が入っていたように感じました。



八雲町社協だより

会長就任挨拶



会長 松井 敏 夫

この度の役員改選において、再度会長に選任されました。

社会福祉協議会の果すべき役割に向って、微力ではありますが、心新たに与えられた職務を全うして参りますので宜しくお願い申し上げます。

社協では、住み慣れた家庭や地域で自分らしく安心して暮らせるため、ともに支え合いながら、みんなで地域福祉を推進しようとして平成二十五年度からスタートした「新2期地域福祉実践計画」を着実に進めるため、運営の充実、財源の確保と財政の確立を図りながら事業の展開をして参る所存であります。

併しながら少子高齢化、核家族化の進行や介護保険法の改正予定などで、状況はこれからも変わってくるものと予想されますので、これらに起因する課題を一つ一つ乗り越えるために、行政や個人、関係福祉団体などと十分連携をとりながら、役職員一丸となって取り組んで参りますので、ご理解とご支援をお願い申し上げます。

社協役員、評議員が新しく選任されました

この度、任期満了に伴う役員、評議員の改選がおこなわれ、次の方々が選任されましたので報告します。(敬称略)

★理事 十五名★

- 会長 松井敏夫
- 副会長 長江隆一
- 理事 佐藤弘
- 五十嵐泰雄
- 能代常男
- 目谷朝子
- 金子昭男
- 林富美子
- 小西寿美子
- 川口洋子
- 齊藤やす子
- 小林元彦
- 吉村達巳
- 岡島省一
- 宮田千秋

★評議員 三十一名★

- 三好力
- 大野尚司
- 安藤辰行
- 林勝利
- 山内和夫
- 八木英行
- 相木スミ子
- 知野修司
- 深澤静江
- 油谷徳悦
- 矢羽京子
- 伊藤義親
- 高橋敏幸
- 増井ケイ
- 野田律子
- 竹村正美
- 吉田久子
- 牧由紀美
- 藤本教夫
- 竹内弘
- 河井善雄
- 若林元子

★監事 二名★

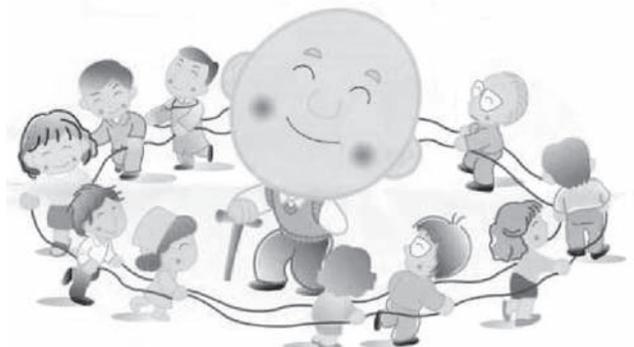
- 監事 干場光
- 岩佐隆治

(任期 平成二十六年二月一日から平成二十八年一月三十一日まで)

(任期

平成二十六年四月五日から平成二十八年四月四日まで)

- 黒島竹満
- 松田紀嗣
- 大野博子
- 長田純忠
- 笹川則子
- 鍛冶明美
- 林玲子
- 片平紀子
- 手塚利昭



平成26年度 八雲町社協事業計画

基本方針

八雲町社会福祉協議会は、多様な福祉ニーズや時代の要請に応えつつ、多方面にわたる福祉課題の解決に向けて、地域住民・行政・町内会・福祉施設・福祉団体・ボランティア等との連携を図り、一体となって地域福祉活動を進めてまいりました。

しかし、少子・高齢化の進行や長引く経済不況さらには介護保険をはじめとする社会福祉分野の諸改革が進められているなど、わたしたちを取り巻く環境は大きく変化してきており、これらに起因する様々な生活課題が浮き彫りになってきています。

こうした状況の中、地域住民が安心して暮らし続けることのできる地域社会を実現していくためには、「寄り添う」視点に立った地域福祉事業や活動の展開が大切となっています。

そのためにも、「新2期地域福祉実践計画」の着実な推進と目的を共有するすべての個人・団体と協力・協働しながら、役職員一丸となって「ともに支えあう、

安心・安全・福祉のまちづくり」を目指し、次に掲げる重点推進事業を展開してまいります。

社協の中心となっている在宅福祉サービス事業の多くは町からの受託事業であり、その実施にあたっては事業効果が発揮できるよう適正な遂行に努めてまいります。

社協が経営している介護保険事業所は、デイサービスセンター・居宅介護支援事業所・訪問介護事業所（熊石地域）となっています。このうちデイサービスセンターは利用者の減少傾向が続く厳しい状況にあることから、経費節減はもちろんです。特色あるサービス展開が必要であり、そのための取り組みを一層強化し、今後ともその使命を果たしていく所存であります。各事業所の運営については、それぞれの事業計画に基づき、引き続きその役割を果たしながら健全経営に努めてまいります。

重点推進事項

地域福祉実践計画の推進

2年目を向かえる新2期地域福祉実践計画の推進については、理事会に設置した地域福祉実践計画推進委員会において進行管理や評価・見直しを絶えず行うとともに、関係団体等との意見交換や相互協力を図り、計画事業等の着実な実施を図ってまいります。

ボランティアセンターの運営とボランティア団体との連携

地域福祉を推進していくためには、ボランティア活動の振興と協力が重要であり、ボランティアスクールや青少年福祉活動体験事業を実施するとともに、学童生徒のボランティアへの参加促進やボランティア活動の情報発信についても意を配してまいります。

また、各ボランティア団体との連携や育成支援にも引き続き取り組んでまいります。

町民の寄付により運営されております愛情銀行は、社協にとっては極めて大事な財源であり、ボランティア団体への運営助成などに活用されております。これからはその用途が分かるよう「見える化」を図り、善意がより広がるよう努めてまいります。

生活一時金・生活福祉資金の貸付事業の実施

低所得者や経済的な生活課題を抱える世帯に対し、生活一時金（社協単独）、生活福祉資金（北海道社協事業）の貸付を実施しております。

また、合わせて必要な相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進等を図ってまいります。

地域福祉活動の推進

地域福祉活動の推進にあたっては、地域住民やあらゆる団体・組織と連携・協働して地域の様々な課題を把握し、その解決に向けた取り組みを行ってまいります。

町内会等が行っている安心ほっとネット活動やふれあいサロンの取り組みについては、社協としても各種事業や活動を生かしながら引き続き協働・支援してまいります。

第5回となる社会福祉大会は、地域福祉の一層の推進が図られるよう内容充実に努め開催してまいります。

ふれあい広場の開催や乳酸飲料配布などの高齢者等見守り活動にかかる事業についても、関係者と有機的に連携しながら取り組んでまいります。



ともに支えあう、
安心・安全・福祉の
まちづくりを目指して

在宅福祉活動の推進

給食・移送サービスについては、町からの受託事業が中心となっていますが、「顔が見え、気遣い合える」関係を大切にし、生活の質の向上とサービス充実に努めてまいります。町民の善意により寄贈された福祉用具の有効活用を図るための無償貸付事業についても引き続き取り組んでまいります。

八雲町社協だより

相談・権利擁護事業

心配ごと相談の多くは経済的要因が大部分であり、行政や関係者と連携を図りながら相談援助活動に努めてまいります。

また、各種事業や活動をつうじ、住民の悩みに速やかに相談のり適切な助言支援等を合わせて行ってまいります。

前年度から北海道社協からの受託事業として始めた、日常生活を営むのに支障がある方の金銭管理等を支援する日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）は、社協が果たすべき基本的役割と認識しつつ、生活支援員とともに利用者の自立支援に取り組んでまいります。

町からの受託事業の実施

町からの受託事業は次のとおりとなっています。

- ①八雲町総合保健福祉施設シルバープラザ管理業務
- ②寝たきり高齢者等移送サービス事業
（八雲・熊石地域）
- ③高齢者等給食サービス支援事業
（八雲地域）
- ④緊急通報体制整備事業
（八雲・熊石地域）
- ⑤生きがいデイサービス運営事業
（八雲地域）
- ⑥要介護認定訪問調査業務（八雲地域）
- ⑦介護予防サービス計画作成業務
（八雲地域）
- ⑧高齢者生活指導員派遣事業（熊石地域）
- ⑨独り暮らし高齢者訪問事業（熊石地域）

介護保険事業所等の健全経営

介護保険法等に基づくデイサービス・居宅介護支援・訪問介護の各事業所の運営にあたっては、利用者アンケートを実施するとともに、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、思いやりと信頼を大切に事業実施に努めてまいります。

デイサービスセンターについては、利用者サービス向上アクションプランを策定し、特色あるサービスの導入などや幅広い広報活動の展開をつうじた利用者確保を図り、永続的経営が果たせるよう努力してまいります。

また、平成27年度介護報酬改定では大きな制度改正が予定されていることから情報収集に努め、これに対応した準備を進めてまいります。

なお、各種助成団体への要望が認められた時は、備品購入積立金を活用しデイサービスセンター利用者送迎用車両の更新をしてまいります。

財源の確保と財政の確立

八雲町社協は、町からの運営補助金・在宅サービス等の委託金、介護保険事業にともなう介護報酬、愛情銀行への寄付金、そして、住民の理解と協力を得た自主財源であります個人会費・賛助会費・特別会費及び共同募金助成金など多様な公的財源により運営されています。

特に会費については、長引く経済不況等により、その確保は年々厳しい状況にありますが、新たな自主財源確保の検討を含め、役職員一丸となって健全財政の確立に努めてまいります。

①会費納入について

自主財源の中で、大きなウエートを占める会費については、引き続き住民や町内会等の理解を得ながら個人会費の納入と賛助会員・特別会員の加入促進に向けて努力してまいります。

②共同募金運動への協力

住民の善意と助け合いの精神により、地域福祉推進の取り組みを財源面で支える赤い羽根共同募金は、各種福祉団体への助成金として活用されており社協の重要な自主財源となっています。

そのため、八雲町共同募金委員会が展開する募金活動に対し、積極的に参加し支援協力してまいります。

③基金・積立金について

社協には、資本金となる基本財産のほか、福祉基金・財政調整基金・人件費積立金・備品購入積立金・退職共済積立金があり、その適正管理に努めてまいります。

また、資金状況に応じ積み立てて行くとともに、目的に沿い有効活用を図ってまいります。

社協組織運営の充実

①啓発・広報活動

「社協だより」・「支所だより」を年4回発行し、各種事業や行事の周知を図り社協活動の啓発に努めてまいります。

また、ホームページを活用した広報活動も行っております。

②組織運営の充実強化

評議員会・理事会・各委員会及び正副会長会議等を必要に応じ開催するほか、研修会への参加や情報収集に努めながら組織体制の強化を図り地域福祉を推進する団体としての役割・機能を果たし、地域に理解と信頼を得られる社協づくりに努力してまいります。また、職員の資質向上・専門性の確保にも努めてまいります。

本年度から新社会福祉法人会計基準に基づく会計移行となりますが、同時に効率性と透明性が求められており、適正な経理処理に一層努めてまいります。

③地域間交流の促進

八雲・熊石両地域の交流については、今後も各種行事・事業等の参加交流をつうじ、一層交流促進が深まっていくように努めてまいります。



(5)

八雲町社協だより

平成26年度八雲町社会福祉協議会収支予算

平成23年7月27日付「社会福祉法人会計基準の制定について」が発出され、会計管理の単位として「拠点区分」の設置が新たに導入されたことに伴い、平成26年度予算は次のとおりとなります。

[本所拠点区分]

(単位:千円)

| | | | |
|------------------|--------|---------------------|--------|
| ○法人本部運営事業 | 44,202 | ○通所介護事業 | 39,461 |
| ○共同募金助成金事業(本所) | 1,660 | ○居宅介護支援事業 | 11,296 |
| ○在宅福祉事業(本所移送・給食) | 6,615 | ○ボランティアセンター(愛情銀行)事業 | 1,085 |
| ○緊急通報システム事業 | 2,217 | ○生活一時金貸付事業 | 1,500 |
| ○ふれあい広場事業 | 1,320 | ○生活福祉貸付事業 | 179 |

(収入)

(支出)

| 科 目 | 予 算 額 | 科 目 | 予 算 額 |
|-------------------------|---------|-------------------------|---------|
| 会 費 収 入 | 3,565 | 人 件 費 | 79,158 |
| 町 補 助 金 収 入 | 28,750 | 事 業 費 | 12,831 |
| 町 受 託 金 収 入 | 22,470 | 事 務 費 | 6,702 |
| 道 社 協 受 託 金 収 入 | 359 | 助 成 金 支 出 | 420 |
| 共 同 募 金 助 成 金 収 入 | 1,660 | 共 同 募 金 助 成 金 | 1,660 |
| 介 護 保 険 収 入 | 43,652 | 貸 付 事 業 支 出 | 1,500 |
| 寄 附 金 収 入 | 500 | 施 設 整 備 支 出 | 4,903 |
| 受 取 利 息 配 当 金 収 入 | 16 | 積 立 資 産 支 出 | 1,030 |
| 雑 収 入 | 33 | サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 支 出 | 994 |
| 償 還 金 収 入 | 1,500 | 予 備 費 | 337 |
| 施 設 整 備 補 助 金 | 2,430 | | |
| 積 立 預 金 取 崩 収 入 | 1,694 | | |
| 拠 点 区 分 間 繰 入 金 収 入 | 80 | | |
| サ ー ビ ス 区 分 間 繰 入 金 収 入 | 1,425 | | |
| 前 期 末 支 払 資 金 残 高 | 1,401 | | |
| 本 所 拠 点 区 分 収 入 予 算 合 計 | 109,535 | 本 所 拠 点 区 分 予 算 合 計 | 109,535 |

[支所拠点区分]

(単位:千円)

| | | | |
|----------------|-------|-----------|--------|
| ○共同募金助成金事業(支所) | 400 | ○訪問介護事業 | 11,130 |
| ○在宅福祉事業(支所移送) | 1,594 | ○小口資金貸付事業 | 751 |

(収入)

(支出)

| 科 目 | 予 算 額 | 科 目 | 予 算 額 |
|-------------------------|--------|---------------------|--------|
| 町 受 託 金 収 入 | 2,430 | 人 件 費 | 10,690 |
| 共 同 募 金 助 成 金 収 入 | 400 | 事 業 費 | 1,866 |
| 介 護 保 険 収 入 | 8,955 | 事 務 費 | 67 |
| 自 立 支 援 費 等 収 入 | 107 | 貸 付 事 業 支 出 | 750 |
| 受 取 利 息 配 当 金 収 入 | 2 | 共 同 募 金 助 成 金 | 400 |
| 雑 収 入 | 1 | 予 備 費 | 102 |
| 償 還 金 収 入 | 750 | | |
| 前 期 末 支 払 資 金 残 高 | 1,230 | | |
| 支 所 拠 点 区 分 収 入 予 算 合 計 | 13,875 | 支 所 拠 点 区 分 予 算 合 計 | 13,875 |

収入予算総合計

123,410

支出予算総合計

123,410

平成25年度 ボランティアスクール



No.4

ボラ通



3月1日(土)に平成26年度ボランティアスクールを開催致しました。

ボランティアスクールは社協の基本理念でもある「ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくり」を推進していくため、ボランティアの意義を再確認するとともに、ボランティアのネットワークづくりやボランティア参加者の知識・資質の向上を図ることを目的に講師をお招きし開催しています。

今回は午前八雲町消防本部消防課救急係山本裕規氏をお招きし、日常生活、ボランティア活動中に起こりうる、緊急時の応急手当てや対応についてなど学びました。映像を使っの講義、人形を使っの実技など、わかりやすく説明していただき、参加者は真剣に聞いていました。



「ボランティア活動、サロン支援に活かせる道具いらずのレクリエーション実践」 ～笑顔満開！レクリエーションでコミュニケーション！ in やくも～

午後からはボランティア愛ランドなどでも講師経験のあるケアレクリエーション倶楽部代表南部広司氏を迎え、講演していただきました。

道具を使うことなく行えるレクや、笑いながら楽しめるレクなど、集団で楽しめるゲームや大きく口を開き歌ったりすることでの運動、上手い下手、勝ち負けの関係なくみんな一緒になって楽しめる、人が増えれば増えるほど楽しめるレクなどを教えていただきました。参加した皆さんは楽しく学ぶことができました。



熊石中・高生の冬休み体験ボランティア事業

平成8年度から始めた「中・高生の冬休み（夏休み）体験ボランティア事業」は、平成25年度も多くの中学生・高校生のみなさんに参加いただきました。

最近、あまり目にしなくなった『水拭きモップ』。

四角いバケツでローラーにモップを挟み絞れるモップですが、使い方がわからない子供たちも、教えてもらいながら一生懸命掃除をしていました。

家庭では、ちょっとできないことが経験できる事業でもあると感じた場面でした。



「熊石保育園」園児との交流



「くまいし荘」水分補給のお手伝い



「ふれあい訪問」食事の用意



皆さまからの社協会費は地域福祉事業に活用されています。

社協会員への加入を

お願いします

当社協は、町民皆様のお力添えに支えられながら、地域福祉、在宅福祉そして介護保険事業所の運営を推し進めております。

社協の運営財源は、町民皆様から収めていただく会費、町補助金、受託事業の受託金、赤い羽根共同募金の助成金、そしてボランティアセンター（愛情銀行）によせられた寄付金（浄財）、介護報酬等により賄われています。

主な使い道は、職員の人件費、介護保険事業、毎年開催するふれあい広場事業（敬老会）、在宅福祉事業（移送サービス事業、給食宅配事業、緊急通報システム設置事業等）、会報（社協だより）発行事業、各種福祉団体、青少年団体への助成事業等に使用されています。

お願いする会費は次のとおりです。

◎一般会費 五〇〇円

本年度もご理解賜りご協力下さるようお願いするともに、全戸加入下さるようご協力をお願いします。

◎賛助会費 一口三、〇〇〇円

後日、社協役員がお伺いいたしますので、社協の地域福祉事業にご理解いただき、一口以上のご配慮下さるようお願いいたします。

皆さんの温かい善意のご寄付ありがとうございました

ボランティアセンター（愛情銀行）

平成25年12月16日～平成26年4月15日（順不同・敬称略）

一般寄付

- スナック草笛 富士見町 81,830円
- 熊石すこっぷ三味線愛好会 20,000円

物資寄付

- 北海道コカ・コーラボトリング株式会社 函館販売部八雲販売課
（昭和59年度より継続） 飲料水41箱
- 八雲ボランティア（平成10年度より継続） シャワーキャリア1台
- 匿名 雑巾73枚

※飲料水は、八雲町の各福祉施設へ配付させていただきました。



社協活動メモ

十二月

- ・平成二十五年渡島地区地域福祉生活支援センター生活支援員研修会
- ・仕事納めの式（十二月二十七日）
七飯町文化センター

一月

- ・仕事初めの式（一月六日）
- ・八雲町身体障害者福祉協会新年会
- ・八雲民謡会新年会
- ・第3四半期定期監査
- ・第二回評議員会
- ・拡大正副会長会議
- ・八雲ボランティア創立四十周年記念祝賀会並びに新年親睦会
- ・熊石中・高生冬休み体験ボランティア

二月

- ・第五回理事会
- ・第二回八雲町共同募金委員会理事會
- ・落部婦人ボランティア新年会
- ・第二十三回高齢者ふれあい演芸会
- ・正副会長会議
- ・東野老人クラブ福寿会新年度総会
- ・第二回八雲町民生委員協議会定例会
- ・第三回八雲町総合開発委員会
- ・第二十三回熊石ふれあい演芸会

三月

- ・ボランティアスクール
- ・八雲町福祉有償運送運営協議会
- ・熊石関内町内会安心安全ふれあいサロンの会
- ・第六回理事会
- ・平成二十五年渡島地区ボランティア連絡協議会役員会並びに第二回渡島地区ボランティア推進会議 北斗市
- ・平成二十五年第二回八雲町介護保険事業運営委員会及

四月

- ・第2回八雲町地域包括支援センター運営協議会
- ・第三回評議員会
- ・退職辞令交付式
- ・辞令交付式並びに年度初め式
- ・八雲ボランティア総会
- ・立岩羽衣会第四十八回総会
- ・八雲町身体障害者福祉協会定期総会

社協職員の動き

この度、次のとおり異動がありましたのでお知らせいたします。

- ※平成25年3月31日付退職者
 - 村上 千枝子（訪問介護係長）
 - 高森 喜一（管理係長）
 - 橋本 優（管理人）
 - 八木 孝子（デイサービスセンター介護員）
- ※平成26年4月1日付採用
 - 管理人 田中 悟
 - 管理人 伊藤 光男
- ※平成26年4月1日付再任用
 - 訪問介護係主任 村上 千枝子
- ※平成26年4月1日付昇任
 - 訪問介護係長 萬谷 由美子（訪問介護係主任）
 - 管理係長 八島 富美雄（管理人）

～ よろしく願い申し上げます ～

会報第三十三号 ◎八雲町社協だより◎

平成二十六年五月一日発行
 二海郡八雲町栄町十三一
 社会福祉法人 八雲町社会福祉協議会

☎ 0137-64-2112
 FAX 0137-63-2160